

	日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部		発行人:支部長 木佐 健悟
			北海道ブロック支部事務局 (市立美唄病院内)
			TEL:0126-63-4171
			e-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

文責 北海道ブロック支部広報委員会 松田 諭 (ファミリークリニックさっぽろ山鼻)
satoshi.matsuda619@gmail.com

昨年度末から続く新型コロナウイルス感染症についてはブロック支部会員の皆様も診療に管理業務に日々ご苦労されていることとお察しいたします。くれぐれもみなさまご自身の健康にご留意下さい。

新型コロナウイルス感染症に関しては学会本部でも様々な取り組みを行い発信しているところです。

「新型コロナウイルス感染症 診療所・病院におけるプライマリケアのための情報サイト」

<https://www.pc-covid19.jp>

<目次>

1. ご挨拶
2. トピック
 - ◇ 第8回北海道プライマリ・ケアフォーラム(兼)第5回学術集会報告
 - ◇ 北海道ブロック支部に若手医師学生支援委員会、薬剤師部会ができました
3. ご報告
 - ◇ 幹事会議事
 - ◇ 医学生対象の体験実習・施設見学旅費助成事業のご案内
 - ◇ 今後の予定
4. 編集後記

1. ご挨拶 (広報委員長: 松田 諭)

北海道も徐々にやわらかな春風に心華やぐ季節となりました。4月というと、新しい年度が始まり新たな環境が始まる方も多いかと思えます。私事ではありますが長女が今年小学校に進級し、つくづく子供の成長は早いなぁと楽しみながら見守っていました。

しかし一方で1年以上前から全国的に広がっている新型コロナウイルス感染の拡大により、始業式をはじめ、様々な支障がでてきているのが現状です。少しでも感染拡大が縮小し、拡大前の日常に戻っていくことを願っています。

北海道支部も with コロナ、after コロナの時代に合わせ、支部会員の皆様ならびに北海道民に対し活動のサポートをしていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。



2. トピック

(1) 第8回北海道プライマリ・ケアフォーラム(兼)第5回学術集会在開催されました!

2月23日にポートフォリオ検討会を開催しました。例年はサイトビジットとともに研修施設へお邪魔して開催してきましたが、今年度は新型コロナウイルス流行を鑑み Zoom を用いてオンラインで開催し、専攻医と指導医、さらには薬剤師も合わせて40名近くの方々にご参加いただきました。

内容は専攻医が中心となって企画していただきました。伊藤圭一郎先生(手稲家庭医療クリニック)は「専門医になるための道しるべ」として、総合診療専門医取得にあたって具体的にクリアしないといけない様々な課題を専攻医目線で分かりやすく伝えてくれました。江川正規先生(帯広協会病院総合診療科)は「ポートフォリオ戦術総論」として、誰もが最初は戸惑うポートフォリオの具体的な作成方法と研修期間内での終わらせ方のコツを、これまた専攻医目線で具体的にアドバイスしてくれました。そして、エコー大好きレジデント、通称「エコレジ」として全国に名を馳せる植村和平先生(道立羽幌病院)による「ポートフォリオ検討」では、院内で医師がエコーを実施する際のコスト算定に関する業務改善活動について、指導医との振り返りの内容も含め、現場感あふれる発表をしてくださり、オンラインでのディスカッションも盛り上がりを見せました。最後に、有志のオンライン懇親会では、直前に開催された総合診療専門医の専攻医向け説明会での話題を肴に、この場・このメンバーだから話せるざっくばらんな内容で互いに情報交換と交流を行いました。

来年度も、新型コロナウイルス流行の状況を踏まえつつ、既存の枠組みに囚われずに専攻医や指導医にとって楽しく魅力的な企画を新しい委員会で練られればと思います。今後ご支援のほどよろしくお願いいたします。

(2) 北海道ブロック支部に若手医師学生支援委員会、薬剤師部会が新設されます!

前回のニュースレターでは(2021年1月号)、北海道ブロック支部で広報委員会ができたのをお伝えいたしましたが、この度新たに若手医師学生支援委員会、薬剤師部会が新設されました。

〈若手医師学生支援委員会〉

このたび若手医師学生支援委員会を担当させていただくことになりました、寿都町立寿都診療所の今江章宏と申します。本委員会は、担当副支部長の佐々尾航先生(道立羽幌病院)のご指導のもと、道内の専攻医・研修医・学生を対象として、総合診療のタテ・ヨコ・ナナメの繋がりを広く作っていくことを目指しています。具体的には、専攻医を対象とした新専攻医オリエンテーションやポートフォリオ検討会・サイトビジット、研修医・学生を対象とした勉強会、施設見学の支援などを企画しています。委員には、全国学会の専攻医部会・学生研修医部会で北海道代表の、伊藤圭一郎先生(手稲家庭医療クリニック)・植村和平先生(道立羽幌病院)・宇高彩さん(旭川医大2年)も加わっていただき、北海道においては皆で一枚岩となって活動することで、相乗効果を発揮したいと考えています。委員もさらに充実を目指しており、若手のアイデアを積極的に採用・支援しながら進めてまいりたいと思っていますので、暖かく見守っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



〈薬剤師支部会〉

このたび北海道ブロック支部に薬剤師部会が設立されましたのでお知らせいたします。

日本プライマリ・ケア学会は三学会合併の前、第32回日本プライマリ・ケア学会総会（2009年8月22日）においてプライマリ・ケア認定薬剤師要綱を承認し、プライマリ・ケア認定薬剤師の認定制度を創設いたしました。この制度は薬剤師の資質向上とわが国のプライマリ・ケアの発展に寄与することを目的としています。



この認定制度の魅力もあり北海道ブロック支部でも薬剤師会員が増えてきております。しかしながら会員間のつながりに関しては、フォーラムや地方会で行われているワークショップのグループワークに参加して「初めまして、となること」が多く、今はまだ個人のネットワークに依存しているのが現状です。

そこで薬剤師会員間のネットワークづくりを行い組織的に活動することで、積極的にブロック支部活動に参加することが可能となり、より多職種連携を活性化させることにつなげていけると考えております。

まだ生まれたばかりの部会ですので、皆様には温かい目で見守っていただければ幸いです。それでは最後に薬剤師部会コアメンバーをご紹介します。

笹岡 佑樹（札幌溪仁会リハビリテーション病院）

佐藤 倫亮（十勝いけだ地域医療センター）

田村 英俊（寿都そよかぜ薬局）

深堀 泰弘（ファミリークリニックさっぽろ山鼻）

山口 章江（医療法人十勝勤労者医療協会 帯広病院）

【顧問】古田 精一（北海道科学大学薬学部 教授）

部会設立にあたりご助言賜りました古田先生には、この場を借りて深く感謝いたします。

北海道ブロック支部幹事

田村英俊（寿都そよかぜ薬局）

3. 北海道ブロック支部からのご報告

(1) 北海道ブロック支部幹事会報告（2021年2月6日開催）

A) 第8回北海道地方会（2021年6月26日（土）開催）について（実行委員長 佐藤副支部長）

札幌の「かでる2・7」で人数制限を行い現地開催とすることで進めているが、感染流行による現地開催が出来ない場合、Web開催に切り替えるなどの代替案を検討中。

B) 道庁補助事業（総合診療医確保・養成事業）の実施状況について

① 旭川医科大学 学習会

1月14日（木）19：00からWebで開催。ブロック支部メンバーの他、生協浮間診療所の診療看護師（後藤智美さん）にも講師として参加いただき、在宅診療での多職種との連携等などのお話をいただき好評であった。参加者は16名で内3名が看護科の学生であった。

② 実施予定事業～専攻医ポートフォリオ検討会

2月23日（祝）Web開催。次回報告予定

C) 全国学会の動き（木佐支部長）

第12回学術集会在ウェブ開催となった。他の様々な企画もウェブ開催となり、他の支部の企画への参加の敷居も下がっている。北海道ブロック支部も今後北海道のニーズに合わせた企画を考えていきたい。

D) 支部の財政状況について（事務局）

- ・ 1月末時点の収支状況は、収入総額 3,184 千円で予算執行率 101.3%。一方、支出総額 903 千円で予算執行率 28.7%とかなり低くなっており、新型コロナウイルスの影響により行事・事業があまりできなかったことが要因。
- ・ 今年度の会費の納入状況は1月末時点で 31.6%とかなり低い状況、一つの要因として支部口座の変更に伴い納付書がなくなったことが影響していると思われる。

(2) 道内の地域医療研修希望の医学生さんに対し、旅費が助成されます！

～医学生対象の体験実習・施設見学旅費助成事業のご案内～

道内の総合診療専門医・家庭医療専門医研修プログラムを有する医療機関に於いて、地域医療（総合診療・家庭医療）の体験実習・施設見学に参加した医学生に対し、参加に要する旅費（宿泊含む）を助成する事業を行っています。ぜひご利用ください！

詳細はこちら：<http://jpca-hokkaido.jp/hiyoujosei>

(3) 今後の予定（日本プライマリ・ケア連合学会／北海道ブロック支部関連）

- ・ 2021年5月22日、23日 第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（福岡市）
詳細はこちら：<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021/>
- ・ 2021年5月29日（土） 北海道支部幹事会
- ・ 2021年6月26日（土） 第8回日本プライマリ・ケア連合学会 北海道地方会（定時総会）
- ・ 2021年11月20日（土） 第9回北海道プライマリ・ケアフォーラム（兼）北海道ブロック支部第6回学術集会

編集後記（広報委員会：松田諭）

この度は北海道ブロック支部広報委員会初のニュースレター、お読みいただきありがとうございました。

2021年3月11日で、東日本大震災から10年がたちます。現在も被災地にける方々やご遺族、対応にあたってくださっている方々などすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。私自身も出身が仙台市であることもあり、この震災は何気なく連絡を取っていた親族や友人と突然断絶されてしまう悲痛な思い、生まれ育った場所が破壊されてしまったという悲しみが北海道にいながらもなかなか改善しなかったことを思い出します。そして自身の価値観を大きく変える出来事となりました。

現在も、大地震や大型台風、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大など、人々や思いを分断してしまうような大きな「災害」が続いています。我々北海道支部としても地域に近い立場で、つながりや思いを大事にし、安心して生活できる北海道を支援していきたいと思っております。

末尾になりましたが、今回ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。